

(3) キャリアステージに応じた養護教諭研修体系の再構築

平成27年度に養護教諭の資質向上を図るために、教育センターでの研修体系を構築しました。(図1 平成27年度作成教育センターでの養護教諭研修参照)

しかし、研修の指導内容として有効であるか、健康課題解決に即応できる役割を果たしているか、先輩養護教諭からの知識・技能の伝承に有効に機能しているかを見直す必要があると考えました。

そこで、養護教諭の資質・能力の向上を目指したキャリアステージにおける養護教諭研修体系を、経年研修アンケートや専門講座アンケートを基に再構築しました。(図1参照)

視点① 養護教諭が自分の将来を展望することができるようにする。

養護教諭経年研修において、キャリアステージに応じた研修目的が十分達成できるように、改めてキャリアステージの区分の見直しや指導内容を検討しました。また、キャリアステージのニーズに応じた経年研修となるように、養護教諭専門講座を含め、他のセンター講座を関連付け、児童生徒理解を深めることができるなど、養護教諭の職務の質の向上が図れるよう考慮しています。

さらに、養護教諭が、経験年数に応じた役割意識の向上と共に、専門的知識や技能の習熟と、実践的指導力の更なる向上や学校保健活動で中心的役割を果たす力量を高めるために、指導プログラムの開発や充実期(11～20年目)の養護教諭が、教育センターで、学校保健において長期研修生として学べるよう体制を整えます。

視点② 養護教諭が専門性を高め続けることができるようにする。

養護教諭の基本的な職務に関する知識や技能を繰り返し練習できる講座やキャリアステージに応じた知識や技能を深める講座、学校保健における喫緊の課題解決につながる講座を設定するなど講座に役割を持たせます。貢献期(21年目以降)の養護教諭の参加意欲が高まるよう、新たな知識や技能を獲得できる専門講座を設定します。

視点③ 養護教諭が学びのネットワークを広げる。

佐賀県養護教諭の年齢構成の不均衡から生じる課題解決に向け、メンター制度の考えを生かした専門講座や経年研修の工夫を更に進めます。また、学校と教育センターとが連携し、地域の養護教諭が協力して、新採養護教諭や実践期(1～10年)の養護教諭を育成するシステムを試案します。

さらに、SEI-Netを活用し、養護教諭の実践交流が図れる工夫を行います。

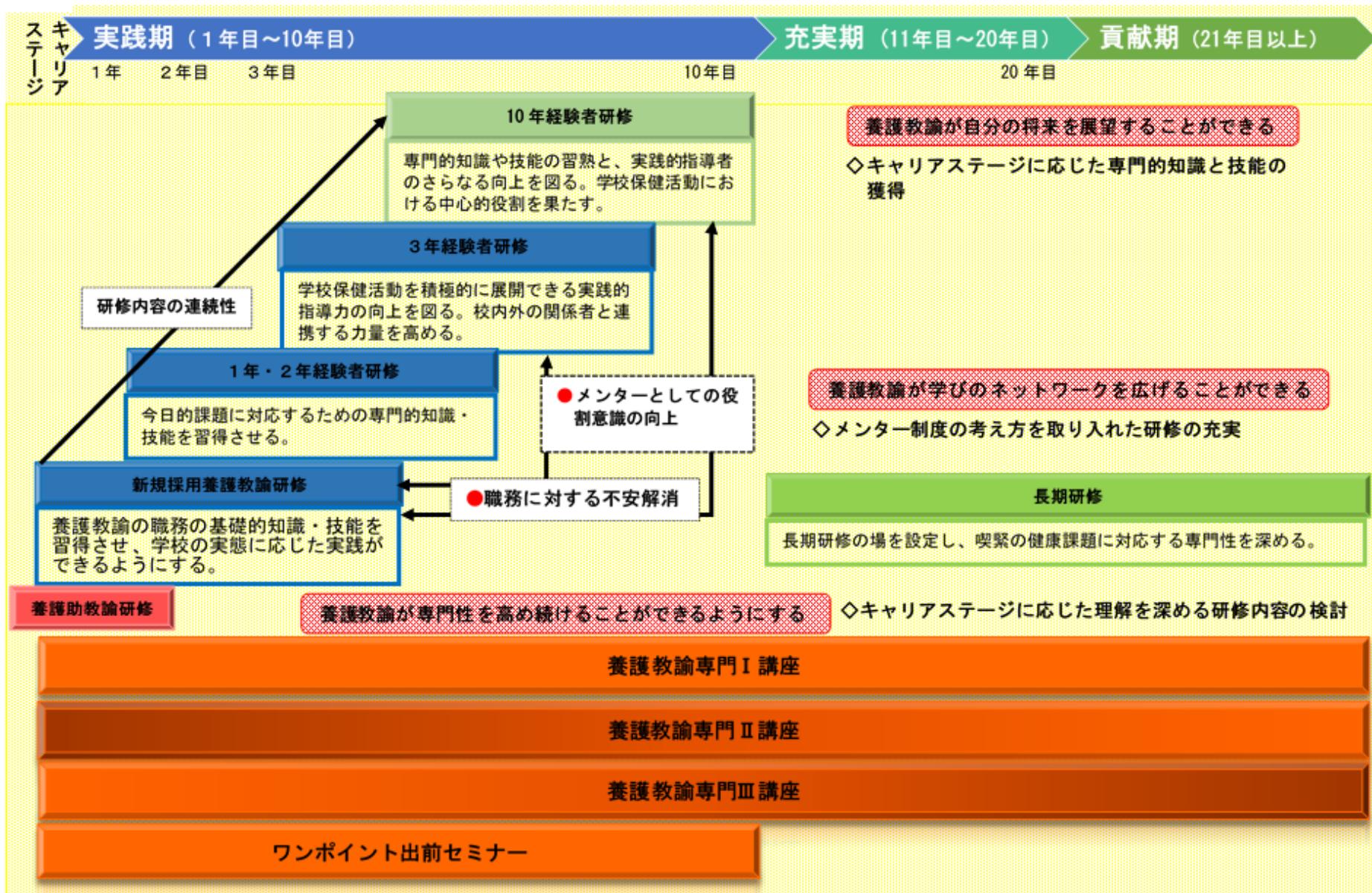


図1 キャリアステージに応じた養護教諭研修体系